

ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース08年4月号
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ http://e-kamagaya.com/

平成20年度予算 臨時議会にて修正し成立！

市民、議員の間から「高齢者への思いやりがたりない」「一方的に切り捨てる福祉とは？」といった声があがり、3月定例議会において否決された予算案は、修正した新たな予算案として提出され臨時議会(3/28)において附帯決議つきで可決されました。

予算案否決のもつ意味

昨年比13億2000万円減額の238億1000万円の平成20年度予算案が審議されました。財源不足を解消する為に、約60億円の事業・経費等の中から12億円(20%)をカットする予算組みが、枠組み配分された各部の中でおこなわれました。

高齢者福祉の立場からは、初小デイサービスセンター廃止(-750万円)、はりきゅうマッサージ券全額廃止(-1000万円)、敬老祝金を100才に限定(-892万円)、敬老会奨励金廃止(-1617万円)など。

学校教育の立場からは、ワカタネ派遣休止(-174万円)、市民まつりの負担金廃止(-180万円)、小中学校の卒業記念品の廃止(-232万円)など…

特に高齢者に対する福祉部門での大胆な切り捨て

は、鎌ヶ谷市の高齢者福祉の方向性を疑うものでした。財政が厳しく経費を削減しなければならない今回のような時こそ、その選択の方向性、政策ビジョンが問われます。

ところが、今回の予算案では、鎌ヶ谷市が全国に先がけて取り組んできた、小学生と高齢者が交流できる福祉の場“初小デイサービスセンター”をいとも簡単に切り捨ててしまうこと、又、はりきゅうマッサージ券を何のためらいもなくきれいさっぱりなくしてしまう姿勢はいったい何なのでしょう？

20%削減の為に数字合わせの感ずらす高齢者福祉への対応は、今回の予算案のもっている問題点を明らかにする部分でした。

“福祉”“医療”“教育”は地方自治体の実現していく市民サービスの要です。市民の立場にたった街づくりをしていきましょう。



市議会議員
ふじしろ政夫

る予算組みが、枠組み配分された各部の中でおこな

高年齢者福祉の立場からは、初小デイサービスセン

学校教育の立場からは、ワカタネ派遣休止(-174

特に高齢者に対する福祉部門での大胆な切り捨て

3月議会で議論されたこと

◇“ほほえみ先生”を全小学校に(1,481万円)

:LD、ADHD、高機能自閉症の軽度発達障がい児童への特別支援教育が提唱されてから、平成17年度以降3ヶ所で特別支援教員(ほほえみ先生)が配置されました。平成20年度には全小学校(9校)でほほえみ先生が配置されます。非常に先駆的な施策であり、障がい児教育におけるインクルーシブ教育への大きな一歩となればと期待されます。



初小ふれあい学校と指針の先生

多くの市民の声を議会へ届けましょう。

◇指定管理者制度のあやうさ…

—“さわやかプラザ軽井沢” 指定取消しへ—

柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の“さわやかプラザ”を、指定管理者制度のもと運営してきたミナト興業から辞退の申し出があり、制度は一年間もたず平成20年2/29をもって終了となりました。

“官から民へ”、コスト削減と市民サービスの向上を目的として指定管理者制度が導入されたのですが、“民間”であれば常に安心で安いということではないということが今回事実としてつきつけられました。「さわやかプラザ」は直営の形でこれまでと同じ様に運営されていくことが2/19の組合定例議会で決まりました。

◇市職員の給料減額(議案22号)

:4月~6月の3ヶ月間1%~2%減額と昇給延伸で約890万+1400万円の効果を。さらに7月からは昇給幅を半分にする事で約2270万円の財政効果を引き出します。トータルで約4686万円の減額となります。

◇議員定数検討中…

議会(議事運営委員会)において、今年中に議員定数についての考えを出そうと議論しております。

その中間報告をいたします。「市民が参加した審議会などで市民の声を聞いていく」といった提案をしましたが議事運営委員会にて否決されました。又、3月議会に出された「21名程度にするよう審議して下さい」といった陳情も不採択となりました。“市民の代表の数(議員定数)”は市民が決定する権利をもっていると思われ

◇学校給食センター建替計画案

平成24年4月稼働を目標に、第一、第二調理場をつつにした新給食センター建替計画案が出されました。(約22億円前後の事業費)

新たな用地8000㎡を確保し、10,000食を一ヶ所で調理するセンター建設を、PFIで可能かどうかを含めて検討するとのこと

です。“地産地消”“食育”の点では、自校式の方が数段すぐれていることを承知で1ヶ所のセンター方式にしようとするものです。



給食センターと建替予定地

ふじしろ政夫の一般質問

☆CO2削減推進計画策成へ

地球温暖化対策はまったなしです。2000年の段階ですでに産業革命期より0.6°上昇しています。2°以上あがってしまうと地球上の生物・自然の秩序は大きく崩れてしまうと言われていています。鎌ヶ谷市の温暖化対策について質問しました。

鎌ヶ谷市は条例化を視野に入れて、市域全域のCO2削減計画＝地域推進計画の策定に向けて具体的に取り組むとのこと。



事業者としての市役所の実行計画は？

市民部長：基準年平成16年の温室効果ガス排出量3924 tを5%削減するのが鎌ヶ谷市の実行計画です。平成18年は3,660 tで6.7%減を達成できました。

地域推進計画をつくりま

市民部長：現在まだ二酸化炭素総排出量の把握はしておりません。京都議定書-6%を最低限として数値目標を設定し、市域全域のCO2等削減策＝地域推進計画をこれからつくります。1年位の間に策定の予定です。

大きな事業者、運輸業者へ削減計画を

市民部長：エネルギー使用の多い事業者、温室効果ガスの排出量の大きい運輸関係事業者へ削減計画書をつくってもらうよう検討します。

条例化も検討します

藤代市議：柏市、川越市、京都市では「地球温暖化対策条例」をつくっています。ぜひつくってほしいです。

市民部長：条例の制定は行動規範であり、市の姿勢をアピールすることからも意義あることです。

地域推進計画策定の中で条例化も検討の視野に入りたいです。

☆栗野の森公園区域内の樹木伐採は好ましくない！

栗野の森公園の区域内の樹木が根元から伐採されました(2月上旬)。

理由として、東電高圧線の線下補償契約にもとづいて切ったとのこと。都



市計画決定した栗野の森公園の区域内であること、鎌ヶ谷市の森林整備計画の対象森(環境保全機能等維持増進森林)であることを考えると、樹木をすべて伐採してしまったことは誤った選択だったのでは？と思われ質問しました。

「森林整備計画」にもとづく「伐採届」へ「適合通知」…苦渋の選択でした。

市民部長：東京電力から「根切り」として伐採届けが出され、鎌ヶ谷市は「適合通知書」を出しました。苦渋の選択をしたところ。

今後、同じ事態を招く危険があるので、それを防ぐ対策を講じます。

都市計画決定した公園内の樹木の伐採は好しくない

都市部長：公園として都市計画決定された区域内の樹木の伐採は原則として好ましくないと考えます。

高圧線下3.2mまでの間でしか伐採しません

都市部長：4月におこなわれる都市公社所有部分の樹木剪定は、高圧線保守管理に必要最低限の線下3.2mまでの間でしか伐採しません。

「樹木伐採届」・「景観条例」を検討

都市部長：中部小裏斜面林伐採、貝柄山公園隣りの斜面林伐採、そして今回の公園内の樹木の伐採はみどりを保全する立場として好しいことではない。

「樹木の伐採に際し届出をする」施策、又「景観まちづくり条例」の策定を視野に入れて、市内の樹林地の保全について考えていきます。

☆医師不足……医療現場に負担

2004年導入された「臨床研修医制度」によって、地方での医師不足が深刻な事態になっています。果して医師は不足しているのだろうか？ 鎌ヶ谷市の医療は大丈夫なのか？ 質問しました。医師の不足で夜間や休日における医療に負担がかかっているとの答弁がありました。

鎌ヶ谷市は87人の医師の数です

福祉部長：人口10万人あたりの医師数は、全国平均で206人、東葛南部医療圏は132人そして鎌ヶ谷市は87人です。(参照OECD諸国の平均は300人)

医師不足による問題は？

福祉部長：医師不足の問題について圏内の詳細な状況は把握しておりません。しかし、船橋市では社会保険船橋中央病院が小児病棟を閉鎖、北習志野花輪病院が二次救急医療機関を脱退しました。

鎌ヶ谷市は鎌ヶ谷総合病院が開院したこともあり、深刻な状況に至っていないと認識しております。

小児科、産科、資料なく分りません

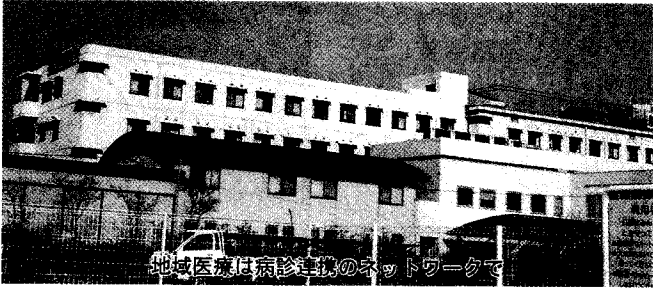
藤代市議：今一番問題になっている小児科、産科の医師数は？

福祉部長：小児科、産科の個別資料はないため不明です。病床を満たしているのでニーズを満たしていると考えます。

基礎資料を整えます

藤代市議：医師の数など基礎資料がなくては、地域医療をつくっていきけません。きちんと資料をととのえて下さい。

福祉部長：最大限データの収集につとめます。



“人に11桁”住基ネットは合憲だ???

…最高裁判決・国民総背番号制への

危険なんかまったくくない???



最高裁小法廷で、四つの訴訟について判決が出された('08.3/6)。“拒否している住民に一方的に住基ネットを適用することは、憲法13条で保障する自己

情報コントロール権を侵害し、違憲である”と判断した大阪高裁の判決(06.11/30)は、破棄された。そして、住基ネットの運用差し止めを求めた石川訴訟(名古屋高裁)、愛知第1、第3次訴訟(名古屋高裁)、千葉訴訟(東京高裁)はすべて住基ネットは憲法に違反しないと、原告住民の上告を棄却しました。

現在まだ10数件に及ぶ住基ネット差し止め訴訟が多くの裁判所で進められている中、なぜ最高裁は判決を強行したのでしょうか？

急いで出された判決は、これまでいくつもの判決の中で(住民敗訴の中でも)認められてきた、自己情報コントロール権といったプライバシー権すら認めないし、住基コード(マスターキー)による情報のデータマッチングの危険性をもまったく無視するものでしかなかった…。

国民総背番号制に向って、何としてでも突っ走りたい政府の意をくんだ判決でしかないのでは…。

神野直彦さん 脱「格差社会」の経済学を語る



財政学教授・神野直彦さんの講演を聞く機会がありました。

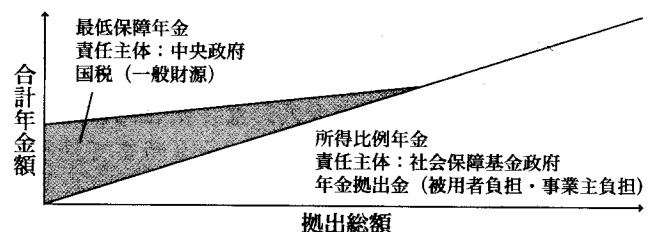
日本は1995年においても、財政が市場に介入した(政府が色々な社会保障対策をとる)あとでは、スウェーデン、フランス、ドイツよりも不平等度(ジ

ニ係数)が高い社会を形成していたとのこと。その後の労働市場の規制緩和(非正規雇用の拡大)、中小企業、家族的機能、業界団体の日本の経営によるセイフティーネットの崩壊により、今、日本は、非正規雇いで年収200万円以下の人々が1000万人(勤労者の1/3以上)を越してしまい、不平等が大きくなっています。この市場の調整機能が働かなくなった状況をどう解決していくのか？神野さんは重化学工学から、知識集約産業への転換期における民主主義に貫かれた三つの政府をキーワードに問題をときほぐしていきました。

「中央政府」は国民にとって生きて行く権利としての“食”“衣”(生活保障)の所得保障をしていくもの。「地方政府」は、生活レベルでのサービスを現物給付していく、即ち育児、養老、教育、医療、福祉を現物給付のサービスとして提供していくもの。そして、「社会保障基金政府」は、準国庫組織として“賃金保障としての機能を果たす”為、年金・失業保険を荷負っていくもの。

これらの三つの政府において“だれでも、どこでも、いつでも、ただで”サービスを受けられるように、社会のセイフティーネットをつくっていくことが必要であり、その為の税制度、介護制度、医療制度をつくっていくことこそ、希望の構想であると語りました。

拠出比例年金・賦課方式



小さな政府、市場原理の道(新自由主義)を歩んでいる日本は、今、市場の調整が働かないままに放置され、格差は拡大し、社会的セイフティーネットは失われてしまっています。

神野さんが指摘した「スウェーデン型の社会へと根本的に転換しなければ国民に将来はない」ということの意味を、どう地方自治体で実現していくのか、考えさせられました。

ストップ裁判員制度!

—陪審制と裁判員制度は似て非なるもの—

2009年5月に実施となる裁判員制度に反対している高山俊吉弁護士の話聞く機会がありました。



なっています。

高山弁護士からは「裁判員制度は陪審制度とは似ても似つかぬもの」との説明がありました。米国型陪審制は、被告の権利擁護の為にあり、被告が無罪を主張し、陪審制を求めたときのみ開かれるとのこと。陪審員としての出頭辞退が認められているし、有罪には陪審員全員一致が原則、又、量刑には関与しないとのこと。それに対して、裁判員制度では、刑罰に関する判断、量刑の判断も共に求められ過半数の多数決で結論が導き出される。そして裁判員になることを原則的に拒否できない強制的な制度であって、陪審制度とはまったく違うものであることが説明されました。

高山弁護士はさらに、①やりたくないのに強制される②思想信条への自由が侵害されるなど、その仕組みそのものが憲法違反であると指摘し、裁判員制度のもつ危険性を明らかにしました。

☆予告「裁判員制度は知らない」集会

4/18 18:00～ 霞が関弁護士会館にて

市民の声

カンボジア王国にユネスコ寺子屋完成

カンボジア王国・シェムリアップ州 プレイ・クロッチ村寺子屋が2008年2月20日、シェムリアップ州知事をお迎えして午前8時から開所式典が開かれた。

プレイ・クロッチ寺子屋は全国から日本ユネスコ協会連盟に寄せられた「書きそんじ葉書」を郵便切手に換えて、それを現金化した資金で建設された。この村には小中学校はありますが、働かなければならず学校に行けない子どもや、学校にいけず大人になったお母さんたちが、新しく出来た寺子屋で夜7時から9時まで読み書き、計算の勉強をします。今でも世界には、生活に必要な文字の読み書きや計算が出来ない人が7億7000万人の成人非識字者がいるといわれています。一方で、貧困や、世界各地でおこる紛争で、学校に行けない子どもたちが約7700万人いるといわれています。日本ユネスコ協会連盟は日本から世界へ、「つなげよう 平和の心を」、「すべての人に教育を」スローガンのもとに世界寺子屋運動を民間ユネスコ運動として取り組んできた。



こうした国際社会の目標を達成するために日本ユネスコ協会連盟独自の取り組みです。

四街道市ユネスコ協会会長 楠岡 巖

※鎌ヶ谷市でもユネスコの民間団体をたちあげましょう。(F)

野馬土手めぐり PART II

(9)東武野田線 初石駅の西

上新宿と西初石(1)との境の野馬土手。

上新宿の常磐自動車道近く、金比羅神社の右側より低い野馬土手が続いている。

この土手は、森側より大土手 堀 小土手となっていたが、小土手を掘って水道管を敷設し道路舗装したと言う。

高さ1m前後の大土手のみが江戸川台(4)との境界迄、約400m続いている。

この半分は林の中に続いており、静かな雰囲気を作っていた。



“野馬のいた風景”シンポジウム

下総小金中野牧跡国指定記念シンポジウム(3/22)に150名以上の市民が集まりました。



ふじしろ政夫の市政報告会

—平成20年度予算案否決と修正—

—高齢者医療制度とメタボ健診—

4月27日(日) 13:30～

まなびいプラザ

☆中村 哲(ベジャワール会)講演会

5月30日 船橋勤労市民センターホール

6月1日 18:00 我孫子駅前アービーホール 1000円

☆「裁判員制度は知らない」集会

4月18日 18:00～ 弁護士会館(霞が関)

☆自主講座「市民自治」第3回二元代表制における議会と首長

4月23日(水) 18:30～ 中央学院大学622教室 1000円

☆9条世界会議 幕張メッセ

5月4日 13:30～ 前売1000円 —ふじしろまで—

5月5日 10:00～ 前売1000円

☆津久井市政報告会

4月20日(日) 13:30～ まなびいプラザ

☆泉市政報告会

4月29日(火) 13:30～ 道野辺中央コミセン

□法律無料弁護士相談 —要予約 ふじしろ市議まで

4/19(土) 5/31(土) 6/21(土) 7/26(土) 13:00～

□碁 楽 会 毎週 金曜日 13:00～